

令和8年国立市議会第3回定例会

行政報告

おはようございます。

皆様のご出席をいただき、第3回定例会が開会されますことに対し、深く感謝申し上げます。

さて、7月28日に発生した「令和8年熊本地震」、8月に発生した「令和8年8月千葉豪雨」により、それぞれの地域で多くの被害が発生しました。

亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧・復興を祈念いたします。

市では災害義援金につきまして、「令和8年熊本地震」は7月30日から、「令和8年8月千葉豪雨」は8月24日から受付を開始し、現在、市役所、旧国立駅舎及び福社会館の3か所に募金箱を設置しております。

また、8月20日に市内3駅において、「令和8年熊本地震」に対する街頭募金の呼びかけを国立市社会福祉協議会と共同で行いました。当日は市職員のほか、国立市赤十字奉仕団、国立市防犯協会、市議会議員の皆様にもご参加いただき、約48万円を集めることができました。

ご協力いただきました皆様に改めて感謝申し上げるとともに、引き続き必要な対応について検討してまいります。

それでは、6月定例会以降の行政執行の主なものについてご報告いたします。

初めに、政策経営部関係です。

平和施策についてですが、6月20日に「くにたち平和の日」イベントをFSXホールにて開催いたしました。当日は、異なる種の動物が衝突しつつも力を合わせて難を乗り越えていく姿を描いた、ヨーロッパのアニメーション映画「Flow」の上映会を開催し、171名の方にご参加いただくとともに、上映後には映画の感想等の意見交換を行いました。

また、6月22日から26日を「くにたち平和推進週間」として、市役所ロビーを会場に、平和に関するパネル展示を行いました。

次に、健康福祉部関係です。

熱中症予防についてですが、公共施設のうち14箇所を、気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設、いわゆるクーリングシェルターとして指定いたしました。

また、市民の皆様が外出先で熱中症から身を守っていただけるように、多くの事業者にご協力いただき、公共施設で20箇所、民間施設では168箇所の合計188箇所に、暑さをしのげる熱中症予防一時避難所を設置いたしました。

さらに、市の職員やくにたち福祉サポーター、認知症伴奏者等が訪問し、水分補給やエアコンの適切使用等を呼びかける見守り活動を行いました。まだ暑い時期が続きますので、引き続き、熱中症予防に取り組んでまいります。

次に、権利擁護支援推進計画についてです。国立市権利擁護支援審議会に対し、令和6（2024）年8月5日に諮問していただきました同計画案につきまして、7月29日に答申をいただきました。

なお、詳細につきましては、本定例会中の福祉保険委員会に報告させていただきます。

次に、市民と市長の対話の会の実施についてです。7月10日に、高齢者施策と健幸で過ごせるまちづくりをテーマとして実施し、15名の方との意見交換を行いました。当日は、市民と市が協働して実施するフレイル予防や情報提供のあり方、公共施設の将来像などについて、様々なご意見をいただきま

した。

次に、子ども家庭部関係です。

青少年国内交流事業についてですが、戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを学ぶことを目的に、8月7日から9日にかけて小学校6年生16名を長崎に派遣いたしました。また、8月23日には、派遣生による報告会を開催し、多くの保護者、市民、議員の方々にご参加いただきました。

次に、幼保こ小連携推進研修成果発表会についてです。これまで、子ども家庭部、教育委員会、くにたち子どもの夢・未来事業団で連携して取り組んできた内容を継続・発展させるため、幼保小連携研究の第一人者である、玉川大学教育学部教授^{おおまめうだひろとも}大豆生田啓友先生と東海大学児童教育学部教授^{ほうらい}寶來^{きしこ}生志子先生にお越しいただき、市内公立小学校、保育園、幼稚園、認定こども園の教職員が集い、研修を実施してまいりました。

全3回に渡り研修会を実施し、最終回の8月6日には、各自が第1回の研修会で設定した、幼保小の架け橋期の子ども達の学びと育ちをつなぐためのチャレンジテーマに対する成果発表を行いました。

当日は、国立市内の関係者のみならず、市外からも行政関係、小学校、保育園などの参加があり、合計で70名が参加しました。成果発表会を通じて、各施設での取組を市内関係者で共有することで、学校教育、保育・幼児教育のレベルアップにつなげるとともに、市外に対しても、国立市の先進的な取組を発信することができました。

次に、生活環境部関係です。

第38回くにたち朝顔市についてですが、大学通り緑地帯において、7月4日、5日の2日間にかけて開催されました。

当日は市内事業者等の模擬店出店があったほか、子ども向けの企画もあり、市民の方はもとより、市外からも多くの来場者がありにぎわいました。

次に、自治会連絡会についてです。7月10日、13日、15日の3回に分けて開催いたしました。当日は自治会同士の情報交換及び市と自治会間での意見交換を行い、合計で34自治会の参加がありました。

また、自治会加入促進に向け、市報7月5日号の1面から3面に、四季折々の自治会主催のイベントを紹介する記事を掲載いたしました。

次に、桜を未来へ安全につないでいくための更新の在り方についてです。7月9日に「桜の更新の在り方に関する市民説明会」を開催し、ご参加いただいた71名の市民の方に対し、矢川通り、大学通り、国立駅南口駅前広場の桜の更新の在り方について、説明を行いました。

次に、都市整備部関係です。

都市計画マスタープランの改訂についてですが、現行計画である第2次改訂版の点検、評価に関する意見交換会を6月14日に実施いたしました。また、4回目となる市民ワークショップを6月21日に開催し、改訂に向けたご意見をいただきました。さらに、8月21日、22日には改訂の骨子案に関する市民説明会を実施し、参加者から多くのご意見をいただきました。

なお、改訂の骨子案についての詳細につきましては、本定例会の建設環境委員会に報告させていただきます。

次に、富士見台地域重点エリア土地利用方針についてです。市民から広く意見を伺うため、7月11日に「富士見台ミーティング」を開催し、28名の方にご参加いただきました。当日

は、重点エリアの「あるべき姿」について意見交換を行いました。

また、7月17日に「第2回国立市富士見台地域重点エリア検討会議」を開催いたしました。検討会議では、まちの骨格に大きく影響する「公共施設の配置」と、エリア全体の主要な動線である「パブリック動線の通し方」について、4つの空間イメージサンプル案を用いて、検討会議委員による意見交換を行うとともに、傍聴者からも貴重なご意見をいただきました。

なお、詳細につきましては、本定例会中の建設環境委員会に報告させていただきます。

次に、国立駅南口駅前広場整備についてです。整備後の駅前広場での活動を検討する市民参加型ワークショップ「くたちえきひろ大学」を6月7日に実施し、26名の方に参加いただきました。

また、6月28日にはイメージパースを市民の皆様へ共有するため報告会を実施し、44名の方に参加いただき、ご質問やご意見をいただきました。

次に、矢川駅周辺のまちづくりについてです。JR南武線連

続立体交差事業に合わせた矢川駅周辺地区のまちづくりについて、現在の検討状況をお知らせするパネルを7月6日から8月7日まで矢川駅2階エレベーター横に展示いたしました。引き続き、矢川駅周辺まちづくりを進めてまいります。

次に、教育委員会関係です。

北秋田市との交流事業である「マタギの^{ちえ}地恵体験学習会」についてですが、7月24日から26日にかけて、国立市の小学4年生から6年生の児童15名が、北秋田市で開催された体験学習会に参加し、北秋田市の児童16名と共にマタギ文化の学習や体験、また植林活動などを行いました。

次に、食育イベントについてです。給食の作り手を知り、給食を身近に感じていただくため、7月28日に市内在住の小中学生とその保護者を対象に、カムカムキッチン探検ツアーを開催いたしました。

参加者は普段は入ることができない調理場に入り、エアシャワー体験や、5,000人分をつくる調理機器を間近で見ただくとともに、給食スイーツの試食等を行いました。

当日は、93名の方に参加いただき、参加者アンケートでは多くの方からご好評の声をいただきました。

終わりに、本定例会には、令和8年度国立市一般会計補正予算案等9議案、報告事項1件を提出させていただいておりますが、報告事項2件、令和7年度国立市一般会計、各特別会計及び公営企業会計の決算認定等6件については、準備が整い次第追加提出させていただきます。

また、国立市固定資産評価審査委員会委員選任の同意についての人事案件につきましては準備が整い次第追加提出させていただきますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます、行政報告といたします。

令和8年（2026年）8月27日

国立市長 濱崎 真也